

熱田小児科クリニック掲示板

7月のテーマ 『RS ウイルスについて』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

RS ウイルス感染症とは…

RS ウイルスの感染による呼吸器の感染症です。咳や鼻水、鼻づまりなど風邪症状で始まりますが、次第に咳がひどくなり、ゼイゼイと苦しそうな息になってきます。また、ゼイゼイが治まっても、痰がからんだ咳がしばらく続きます。非常に感染力が強く、幼稚園や保育園など施設内感染に注意が必要です。

感染を拡大させないために…

- ・感染経路をきちんと把握しましょう。

RS ウイルスはRS ウイルスに感染している人の咳やくしゃみ、または会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込むことで感染します。感染の多くは、この「飛沫感染」によると考えられ、ドアノブなどの環境表面についたウイルスへの接触により、鼻や口などの粘膜や傷口などを通して感染する「接触感染」も成立します。



- ・大人の感染にも注意！

成人が RS ウイルスに感染した場合、かぜのような症状であることが多いから、RS ウイルス感染者であると気付かないことがあります。したがって、咳等の呼吸器症状がある場合は、可能な限り重症化しやすい乳幼児との接触を避けることが重要です。

家庭で気を付けること

- ①呼吸が苦しそうなときは、背中をやさしくたたいたり、体を起こすように抱っこしてあげてください。
- ②鼻がつまっているときは、綿棒でそうじしたり、鼻水を吸い取ってみましょう。
- ③部屋が乾燥しすぎないように工夫しましょう。
- ④母乳やミルクは1回量を少なくして、何回にも分けて与えましょう。
- ⑤飲んだ量やおしっこの回数などをメモしておいてください。
- ⑥病状の変化を見極めることが大切です。主治医の指示に従いましょう。